



No.9

地域包括ペットケアシステム

株式会社アルファライフケア

提案の背景

内閣府の調査では、ペットを飼うのが好きと回答する人の割合は68%と高いものの、その約半数がペットを飼っていない現状があります。一方で、殺処分される犬・猫の頭数は急激に減少傾向にあるものの、未だ2万頭を超えています。飼いたい人がいる一方、命を落とす不幸な命が存在する矛盾は、動物との共生社会を進めていくことで解決できる。更にQOL向上だけでなく健康寿命が延び、社会保障費の抑制に大きなインパクトをもたらすと考えます。

トライアル概要

- ①コンシェルジュと飼養者の募集（トライアル検証）：1ヶ月間
- ②仮サポート展開・仮ベース設置（トライアル検証）：2ヶ月間
- ③アンケートによる効果検証（トライアル実施）：1ヶ月間

【効果検証内容】

①幸福度（LWC指標等）や健康寿命延伸に寄与する要素の効果検証

②ビジネスモデル構築のための検証

✓飼うことを断念している人の不安を払しょくするためのサービス提供頻度や内容と価格

✓ペットコンシェルジュの参加動機の検証

✓ベース利用者が「飼養している」という感覚を持つことができる要素についての検証

飼うことを断念している人の50%が「飼いたい」と思えるサービス提供頻度と内容を得ることをトライアルの成果の目標とする。

期待される効果・実現する未来社会

- ・年齢や身体状況に関わらず、ペットと暮らしたい全ての人が安心してペットと暮らし、心身の健康を確保できる社会。
- ・人が住み慣れた地域で暮らし続ける様に(地域包括ケアシステム)、飼い主に何か起きてもペットも住み慣れた地域で暮らし続けられる社会(地域包括ペットケアシステム)。
- ・本サービスにより平均健康寿命が延び、社会保障費が減少し持続可能な社会となる。
- ・大学・研究機関・行政とのパートナーシップによって上記の因果関係のエビデンスを取り、今後の健康寿命や介護予防に関するEBPMを実行できる社会(地域健康経営)。
- ・持続可能な飼養環境をつくり、飼養できる人を増やすことで、不幸なペットが減る社会。